

2007年1月12日(1月14日改訂)

「第一回・勇気ある宗教者フォーラム」開催のお知らせ ～心から美しいと思える日本のために行動する宗教者の集い～

来る1月28日、宗教の自由のための日本協会(東京都豊島区、代表世話役:南孝次。以下、当会)では、國學院大學院友会館地下大ホールにて「第一回・勇気ある宗教者フォーラム ～ともに行動する、宗教者の連帯を!～」を開催します。記念すべき第一回「宗教者フォーラム」は、伝統文化と新しい文明の研究機構である「**にっぽん文明研究所**」(神奈川県横浜市、代表:奈良泰秀)と共催いたします。

あらゆる宗教が、人の心の平安や世界平和を目指している一方、多くの悲しむべき出来事が毎日のように起きています。人々は見えない不安や負担を背負い、未来を切り開く方法を模索しています。

「命の尊さ」や「こころの教育」が求められる昨今、人としての道理や生き方に関する智慧や実践が希求されています。未来を切り開くには、人それぞれが、自分とは何か、自分はどこに向かって生きるのか、ということを知るのが重要です。

それぞれのグループや地域などが、道義をわきまえ、建設的な目標を掲げる。このような集いによって構成される日本社会ほど、心から美しいと思えるもの国はないでしょう。人々が物の豊かさを実感するとともに、大事なものをなくした、人としての道を外れた、古き良き伝統を置き忘れてきた、と嘆くだけでは心の平安や社会平和の建設は望めません。

当会では、宗教者が道義に基づく日本文化の建設、及び世界平和の確立を求め、邁進してきた歴史に着目してきました。さまざまな宗教が生活に根付き、文化を育んでいる事実を焦点を当て、混迷する今の日本人の琴線に触れる、宗教的実践の見直しこそ急務ではないかと考えました。

そこで、宗教的背景が異なる人々同士の対話を促し、共通項を見いだしながら相互理解を促進し、さまざまな分野で活動する宗教者の連帯の必要性を痛感し、この度、「宗教者フォーラム」を開催する運びになりました。今回の基調講演は、**にっぽん文明研究所代表、「行動する神職」奈良泰秀氏**です。近著「**陽(ひ)の国の神道**」では、『神道は日本人だけのものではない』と訴え、混迷する現代社会の諸問題を独自のグローバルな視点でとらえ、神と自然と人間との調和の実現を示唆しています。

オープニングとエンディングには、**国連平和賞受賞バンド、オルケスタ・デ・ラ・ルス**のピアニスト、**扇谷ケント氏**とシンガーソングライター、**花れん氏**によるライブパフォーマンスが楽しめます。後半には、宗派や分野を超えた有識者によるパネルディスカッションも企画しております。

普段なかなか知り合うことができない、**宗教の異なる活動家同士が「世直し」をキーワードに、共通の目的をもって一同に集うこと**。そのことにより、身内だけでは知り得ない新たな視点を身につけ、ともによりよい社会づくりを推進する喜びを分かちあえる好機となります。

フォーラムの対象は宗教関係者に偏りがちですが、参加資格は特に設けておりません。さまざまな宗教

の智慧や実践、そしてその寛容の心に関心のある方ならどなたでも聴講いただけます。申込受付は先着順で、本日より当会にてメール、ファックスにて承ります。

そこで、報道関係者に今回のフォーラムの告知、及び取材のお願いをするため、この開催のお知らせを送付した次第です。取材をご希望される方は、ぜひ当会にご連絡していただければ幸いです。事前に取材の申し込みをされた報道関係者には、当日通行証を発行させていただきます。

当会は、今後も様々な宗派、分野の第一線で活躍する方々を招き、勇気ある宗教者の集いを開催していく予定です。今後ともよろしくお願ひします。

開催データ:「第一回・勇気ある宗教者フォーラム」

- 開催趣旨:異なる宗教的背景を持つ人々の対話を促し、共通項を見出しながら、精神性あふれる豊かな日本社会をともに尊び、友好的な文明を創造すること。
環境・教育・高齢者社会・薬物乱用など現代社会の諸課題に対し傍観せず、勇気ある行動を自ら示す、宗派を超えた「行動する宗教者」の連帯を築くこと。
- 対象:宗教指導者、社会活動家等、宗教の寛容に関心のある方歓迎。宗派は問いません。

- 開催日程:平成 19 年 **1 月 28** 日(日)13 時開場、13 時半開演(16 時半終演)
- 会場:**國學院大學 院友会館 地下大ホール**(TEL:03-3400-7781 東京都渋谷区東 4-12-8)
- 参加費用:当日:5000 円、優待入場(前売):3000 円
- 定員:先着 100 名
- 式次第 13:00 受付開始、13:30 開演(16:30 終演予定)
- <第一部> ・ライブパフォーマンス(ピアノ:扇谷ケント、歌:花れん)
・当会設立背景と活動の歩み
・基調講演「陽の国の神道～神道は日本人だけのものではない～」
-休憩-
- <第二部> ・パネルディスカッション「ともに行動する、宗教者の連帯を！」
- <パネリスト(予定)> ・内科医師、宗教の自由のための日本協会常任顧問・小出浩久氏
・舞鶴宗教者懇話会代表、曹洞宗桂林寺住職・能登春夫氏
・統一教会 牧会者、有限会社ビッグリッチ代表・大貫啓司氏
・神儀巫女舞九十八代、光ノ宮総司・藤原和晃氏
・薬剤師、カウンセラー・関浩道氏
・ライブパフォーマンス(ピアノ:扇谷ケント、歌:花れん)

* 宗教の自由のための日本協会とは？

寛容と平和のこころを持ち、宗教に関わる情報発信および調査を行うために、2001 年 4 月に発足した市民団体です。信教の自由は基本的人権であり、人間の精神活動の根幹を成すものであるという認識を高めることと同時に、宗教に関わる自由とそれに伴う責任について啓発することを主な目的としています。そして宗教の垣根を超えた対話を推進しています。

本プレスリリースに関するお問い合わせは下記まで:

連絡先: JFRF 宗教の自由のための日本協会 フォーラム担当者

e メール: jfrf@garnet.broba.cc ファックス:03-3576-0799 直通電話:070-6960-2382